

令和 6 年度決算版

# 財務諸表Q&A

& “ワンポイント”用語解説

財務諸表のなぜ？にお答えします！



## はじめに

区の財務には、皆さんの日々の暮らしを支える礎としての役割があります。様々な事業を計画的に行うとともに、不測の事態への対応も欠かせません。

こうした事業を行っていくためには、限られた財源を重点的かつ効果的に投入するとともに、費用対効果を見極め、徹底した事業の見直しによる行財政運営のさらなる効率化・適正化が必要です。

このため、区では、これまで以上に健全で持続可能な財政運営が行えるよう、平成 28 年度から本格的な複式簿記を導入し、新公会計制度による財務諸表を作成しています。

令和 6 年度は、食料品やエネルギー価格などの物価の上昇など、区民の皆様を取り巻く状況が非常に厳しい中であっても、区民の皆様に寄り添い誰もが健康で安心して暮らせるための取組を迅速かつ着実に実行してまいりました。物価上昇への対応として、子育て施設や介護・障害福祉サービス事業所、公衆浴場などの区内事業者への支援を実施するなど、区として必要な取組を最大限行ったところです。また、大規模災害に即応できるよう災害対策の充実など区民の命と安全を守るための取組をはじめ、子育てや教育環境の整備・高齢者や若者への支援・地域産業の振興・まちづくりなど、幅広い分野の課題解決にも確実に取り組んでまいりました。

本書は、令和 6 年度のこのような事業取組後の区の資産状況等を Q & A 形式でまとめています。包括年次財務報告書を読むにあたって、『あら坊・あらみいと一緒にみる荒川区の財務諸表』とあわせて、ぜひこのパンフレットを参考にしてください。

# 目 次

|              |                                          |             |
|--------------|------------------------------------------|-------------|
| <b>Q</b>     | <b>財務諸表は何のために作るの？……………</b>               | <b>1 頁</b>  |
| <b>Q</b>     | <b>財務諸表を分析することでどんなことがわかるの？……………</b>      | <b>2 頁</b>  |
| <b>Q</b>     | <b>区の財務状況はどのような状況なの？……………</b>            | <b>3 頁</b>  |
| <b>Q</b>     | <b>財務諸表を見て財務状況が一目でわかるポイントってあるの？……………</b> | <b>8 頁</b>  |
| <b>Q</b>     | <b>財務諸表はどのように役立てるの？……………</b>             | <b>9 頁</b>  |
| <b>トピックス</b> | <b>緊急性の高い行政需要に対応……………</b>                | <b>11 頁</b> |
| <b>トピックス</b> | <b>区の収入のしくみ……………</b>                     | <b>12 頁</b> |
| <b>トピックス</b> | <b>財務公表……………</b>                         | <b>13 頁</b> |

※ 各問には、関連する包括年次財務報告書（財務報告書）の参照頁を記載しています。

## 用語解説

のマークは『“ワンポイント”用語解説』の対象語句になります。

本書の計数については、各項目とも表示単位未満を四捨五入しているため、表中の増減額及び合計額等が一致しない場合があります。



## 財務諸表は何のために作るの？

財務報告書  
2・3頁参照

令和6年度は、物価高騰対策や災害対策の充実、子育て・教育環境の整備、高齢者や若者への支援、地域産業の振興、まちづくり対策など、区民の皆様の暮らしに必要な幅広い分野の課題解決に確実に取り組みました。その結果、一般会計の決算額は歳入 1,254 億円、歳出 1,222 億円で、差引 32 億円の黒字となりました。

このように、今後も区政の様々な課題解決や新たな行政需要に確実に応えていくためには、私たちが健康診断を受けるのと同じで、定期的に財務状況をチェックし、現在の区の資産や負債等をきちんと把握した上で、必要な財源を確保していくことが大切です。

財務諸表は、区の財務状況をチェックしたり、計画的にお金を使っていくことなどのために活用されています。



**財務諸表で財政状況を定期的にチェック**



## 財務諸表を分析することでどんなことがわかるの？

財務報告書  
22～27頁  
参照

財務諸表を分析することにより、次のようなことがわかります。

### 「将来の財政負担の「見える化」と確実な財政運営」

区では、これまで現金の収支のみに基づいて決算を行ってきましたが、この方法では将来の財政負担を把握することができませんでした。

そこで財務諸表を分析することにより、例えば、公共施設等の老朽度を金額に置き換えて、今後の施設整備や更新を行うにあたり、将来、区としてどのくらい財政負担が生じるのか等の『見える化』が可能になります。

“見える化”

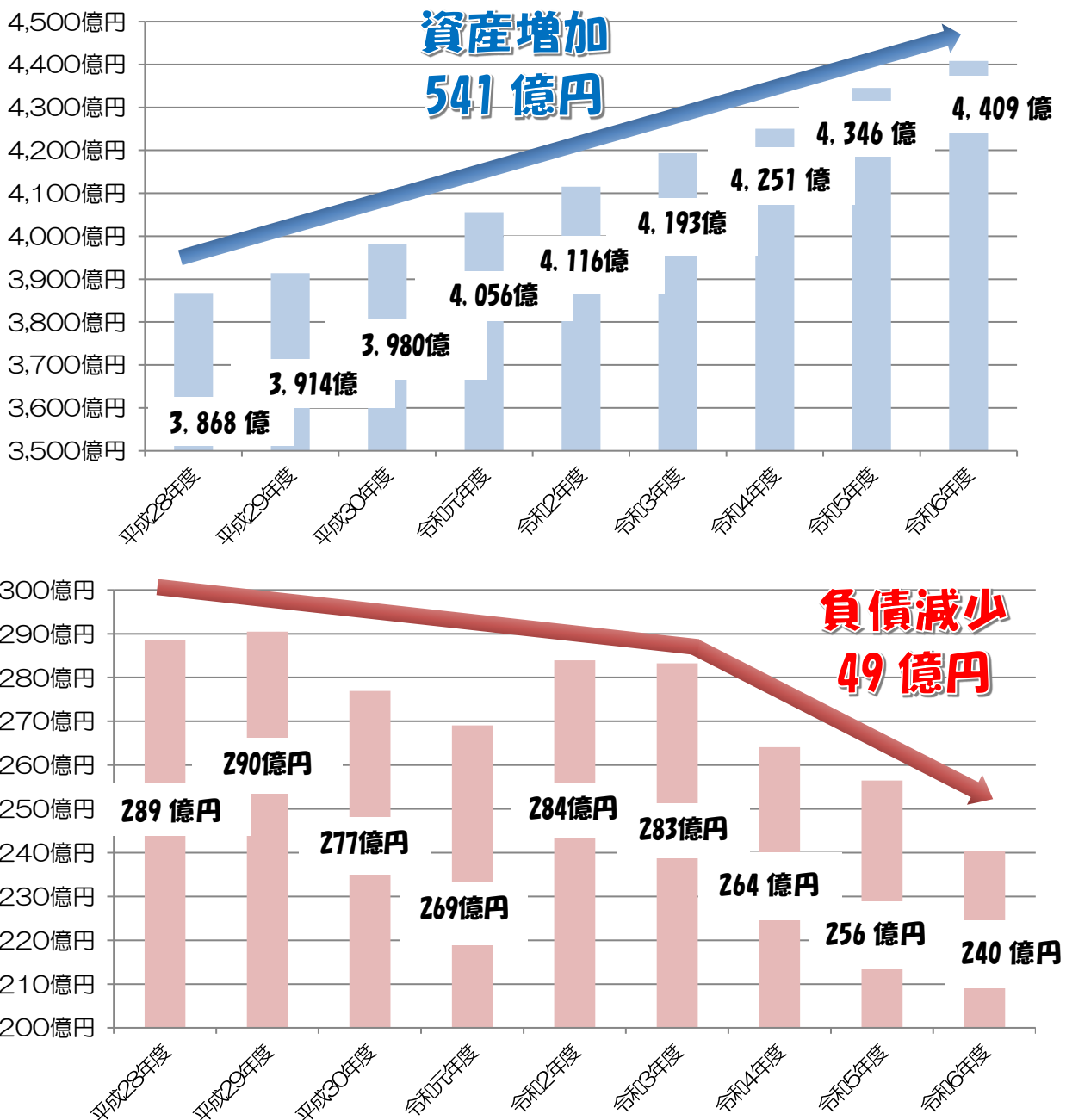




## 区の財務状況はどのような状況なの？

財務報告書  
8・9頁参照  
用語解説

平成 28 年度以降、令和 6 年度までに区の資産は 541 億円増え  
4,409 億円（14.0%増）、負債は 49 億円減り 240 億円（17.0%減）  
となっています。



では、令和6年度末の資産と負債の内訳を見てみましょう。

まず、資産では、道路が 1,908 億円、学校やふれあい館、公園などの公共施設が 1,818 億円で、合計すると 3,727 億円となり資産全体の 8 割以上を占めています。しかし、**減価償却** により、資産の価値は年々減少していきます。



#### “ワンポイント” 用語解説

## 減価償却について

### ◆減価償却とは◆

建物などの固定資産は、使用や時間の経過等に伴って、老朽化や損耗などが進んで、価値が減少していきます。これを減価償却といい、1 年間の建物等の価値の減少分を費用として示したものが減価償却費です。

区の公共施設のうち建物と工作物の資産価値は、取得価格の 1,482 億円に対して 614 億円となっており、毎年度の減価償却の累計額を差し引くと半分以下になっています。



その他の資産 682 億円のうち最も多いのが区の貯金にあたる

基金

で、501 億円あります。

基金には、経済情勢の変動などによる収入不足等に備えるための基金、将来の建替え等に備えて小中学校といった義務教育施設を整備するための基金、庁舎整備基金（\*）、公共施設等整備基金などがあります。

（\*）令和5年度に新規設置

## “ワンポイント” 用語解説

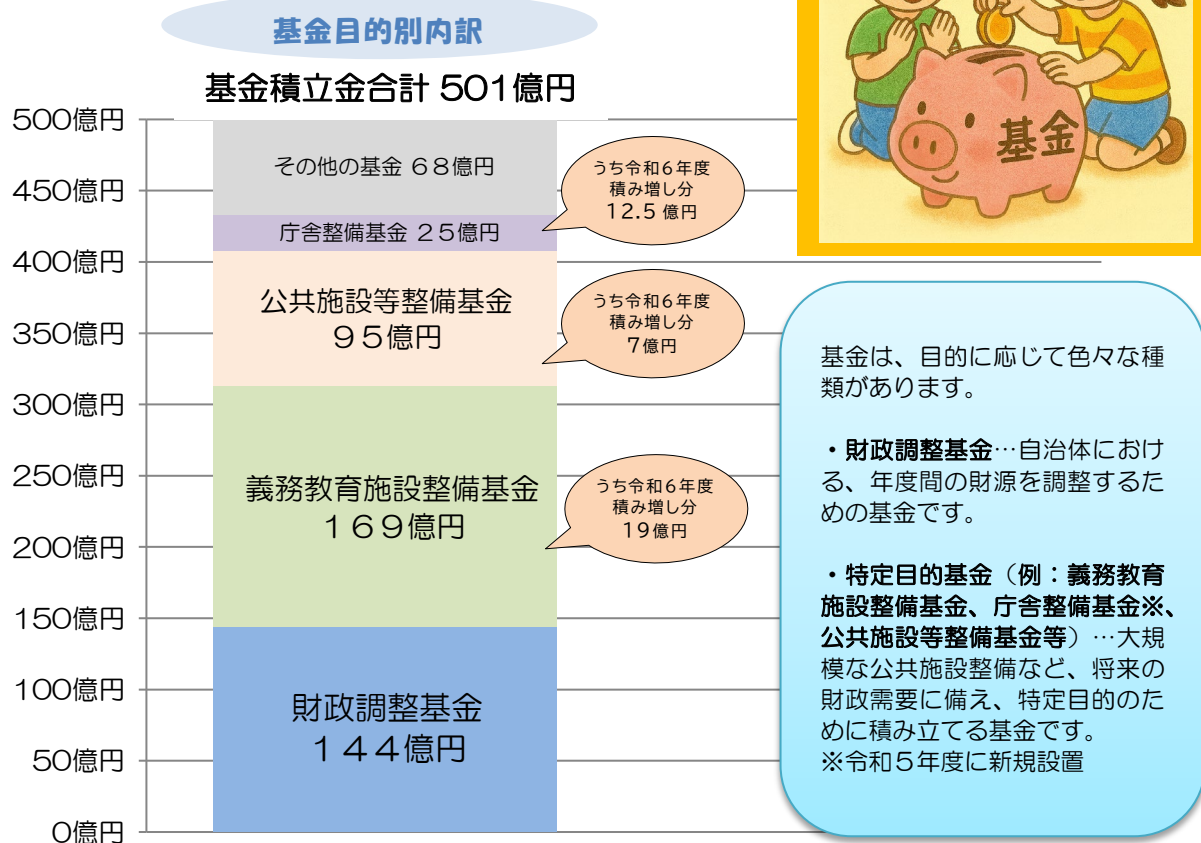
# 基金について

### ◆基金（積立金）とは◆

基金とは、自治体が特定の目的のために、条例の定めに基づいて積み立てているお金で、区の貯金にあたるものになります。

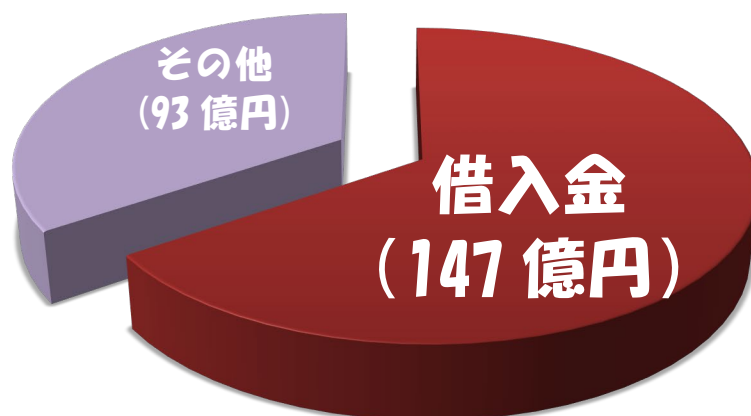
令和6年度末現在の基金の内訳は次のとおりです。

### ◆基金の内訳◆



次に、負債では、**借入金** が 147 億円で約 6 割を占めています。

主な借入の内訳は教育施設整備費に 53 億円、文化施設建設・大規模改修費に 30 億円、ふれあい館建設費に 22 億円等となっています。



その他の負債 93 億円は、将来の支払いに備えるための人件費関係の各種引当金のほか、建物等を借り上げるにより発生したリース債務などです。



# 借入金について

## ◆借入金とは◆

借入金とは区が借り入れているお金で、特別区債といいます。

区がお金を借りる場合は、(\*)法律によって公共施設の整備（建替え、大規模修繕等）などで一時的に多額な資金が必要なお金などに限られており、借りたお金は、長いものでは20年以上かけて返済しています。

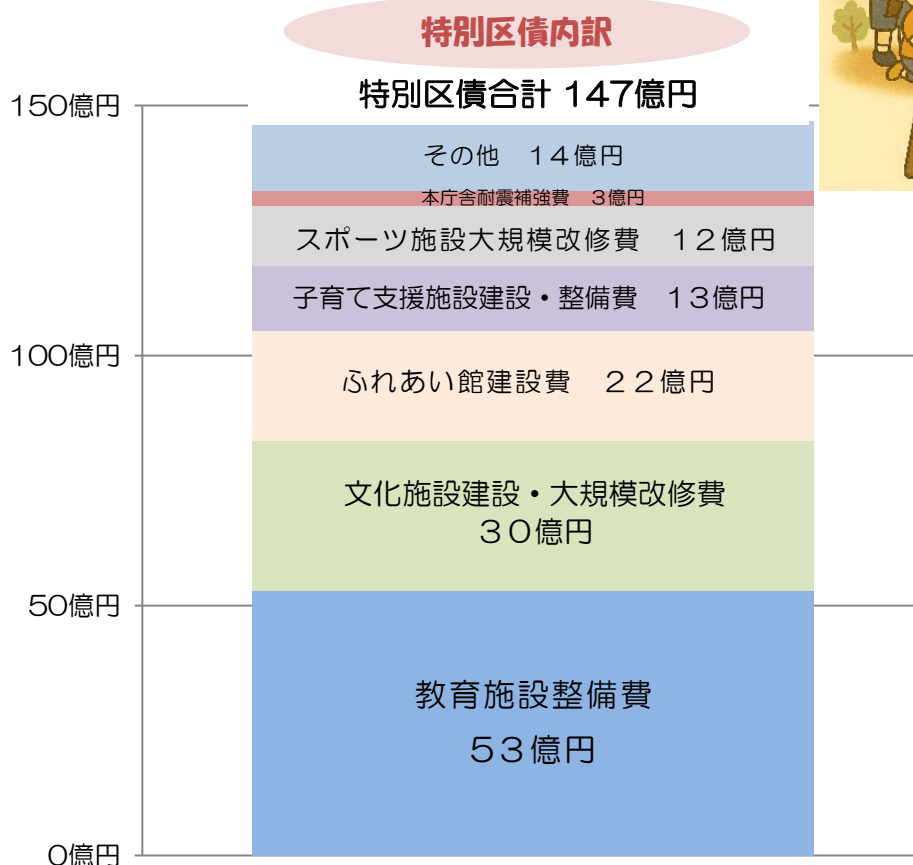
これは、公共施設が世代を超えて、多くの方々に長い間ご利用いただきますので、将来の方々にも幅広くご負担していただくためです。

特別区債の内訳は次のとおりです。

令和6年度の特別区債の合計額は147億円となっています。主な借入先は、国、東京都、金融機関等です。

(\*)地方財政法第5条

## ◆特別区債の内訳◆





## 財務諸表を見て財務状況が一目でわかるポイントってあるの？

財務報告書  
8・9・20頁  
参照

正味財産がポイントです。

正味財産は民間企業でいう自己資本にあたります。

貸借対照表においては、区が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・正味財産）で賄ったかを示すものであり、正味財産は資産の部合計から負債の部合計を差し引くことにより算出されます。

一般的には、資産が増加することは、区の資産が増えたことで財務状況が良くなったように見えますが、例えば、借入金（特別区債）により負債がそれ以上に増えてしまったら、区の自己資本は減り、財務状況は悪化したことになります。

そのため、財務状況を見るときは、資産や負債の増減だけではなく、区の自己資本である正味財産の状況と併せて、お金を借りすぎていないかなど財務運営上のバランスをチェックすることが大事です。

令和6年度の資産に対する正味財産の割合は94.5%（\*）と高い自己資本比率となっており、健全な財政状況となっています。

（\*）平成28年度（92.5%）と比べて2.0ポイント上昇しています。

（\*）令和5年度（94.1%）と比べて0.4ポイント上昇しています。

○貸借対照表（令和6年度）

（単位：億円）

|                    |                      |             |
|--------------------|----------------------|-------------|
| <b>資産</b><br>4,409 | <b>負債</b><br>240     | 特別区債<br>147 |
|                    | <b>正味財産</b><br>4,168 |             |
| 基金積立金<br>501       |                      |             |
| 負債及び正味財産の合計        |                      | 4,409       |
| 資産に対する正味財産の割合      |                      | 94.5%       |



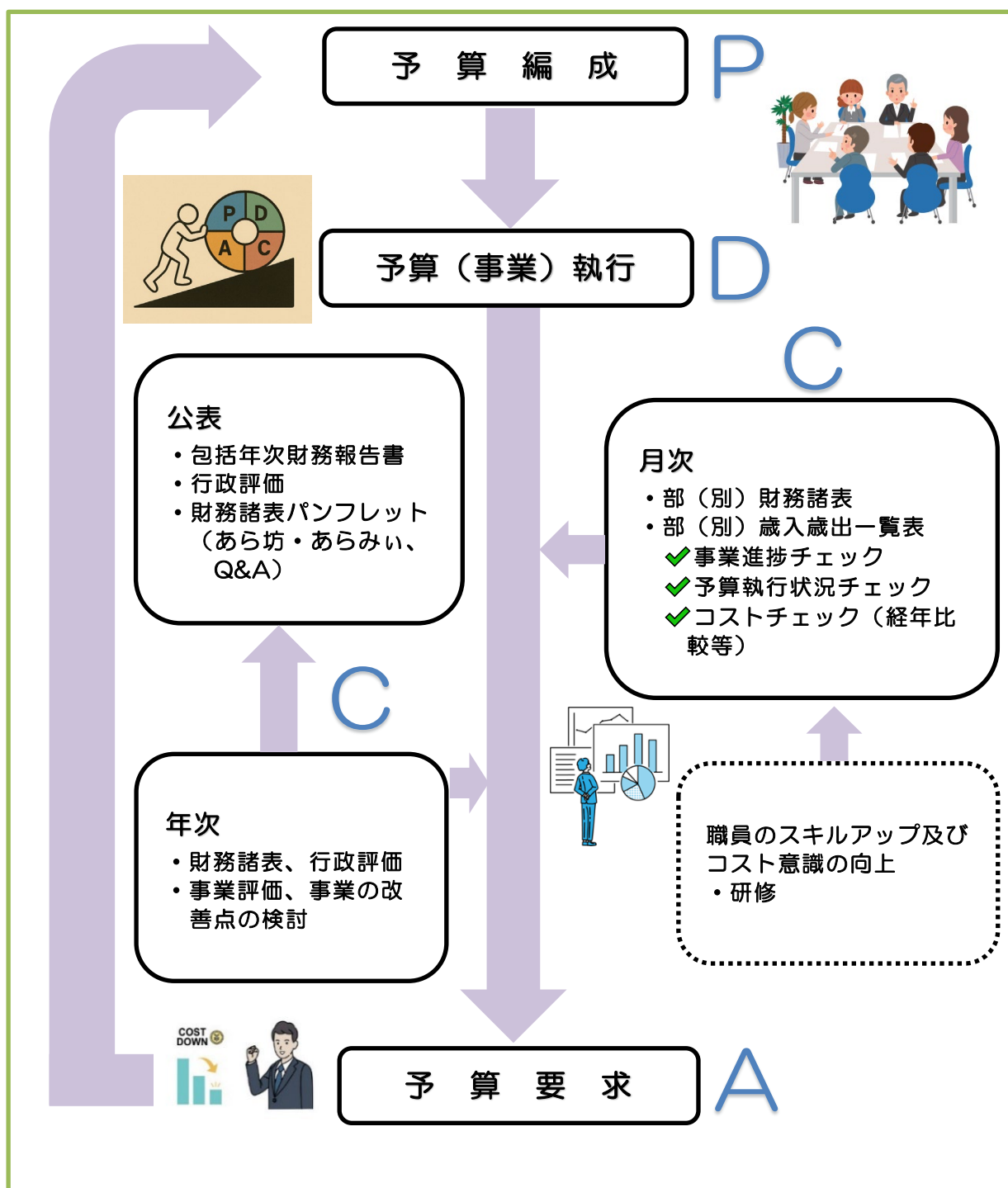


## 財務諸表はどのように役立てるの？

財務報告書  
8・9・12・13・  
22・23 頁参照

### 「新公会計を活用した PDCA サイクルの実施」

区では、財務諸表や行政評価に加え、部（局）別のストック情報及びコスト情報を集計し、事業の進捗管理を実施するなど、新公会計を活用した PDCA サイクルを推進しています。



## 「計画的な施設整備の実行」

区の施設は昭和の高度経済成長期に集中的に整備されたものが多く、同時期に老朽化を迎えるため、一時期に施設の更新（大規模改修や建替え等）に多額の費用が集中することが予測されます。

区では、効果的な修繕により施設を長寿命化するとともに、計画的な施設整備により費用の平準化を図り、基金の積立てや起債の有効活用によって、区役所本庁舎や小・中学校等の公共施設の更新に取り組んでいきます。

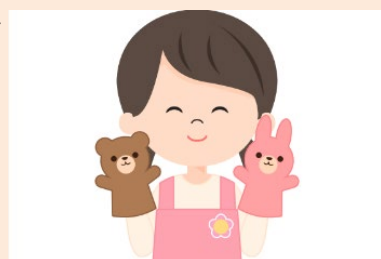


## 緊急性の高い行政需要に対応 ～物価高騰対策など～

行政運営に当たっては、計画的な行政運営に加え、緊急性の高い不測の事態への対応も求められます。令和6年度においては、引き続き物価高騰が続く中、区では、国や都の交付金等の財源を最大限に活用しながら、以下の対策等に取り組みました。

### 区民の生活支援及びこども・子育て支援

- ・ 低所得世帯等への給付事業に加えて、区内の介護サービス事業者や区内の子育て施設等の負担を軽減し良質なサービスを継続できるよう補助事業を実施しました。【35 億円】



### 経済対策・事業者支援

- ・ 区内中小事業者を支援するため、令和4年度に開始した経済急変対応融資や公衆浴場への燃料費助成等の対策を引き続き実施しました。【3億円】



また、高齢者インフルエンザワクチン等の感染症予防事業を実施し、これに要した行政費用は14億円でした。

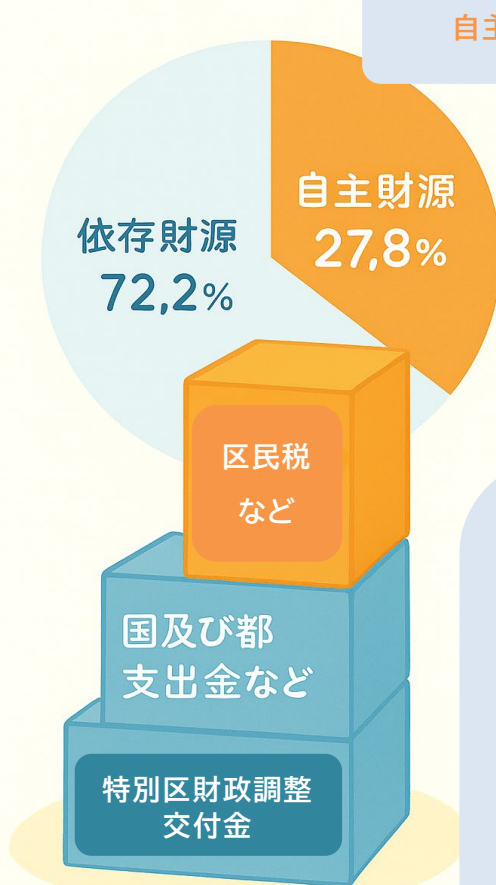
区では、こうした対策や災害対策といった緊急性の高い行政需要に対し、今後も財務諸表により財務状況をチェックし、財源を確保した上で、区民の生活や安全と安心を守ることを最優先とし、しっかりと取り組んでまいります。

## 区の収入のしくみ

区の行政収入は、地方税(区民税等)のほか、東京都を通じて配分される特別区財政調整交付金や国・都の補助金などで成り立っています。

令和6年度の普通会計(※)決算〔速報値〕によると、当区における自主財源比率は27.8%であり、依存財源が大半を占めています。

このように区の収入のしくみは、特別区ならではの財政構造となっています。



自主財源は全体の3割弱となっています

区民税は、区の大切な自主財源です。

しかし現行のふるさと納税制度の仕組みにより、その一部が他の自治体に流れており、当区でも約14億円の影響があります。

この課題は23区共通のものであり、特別区長会では、こうした制度の見直しを求めています。



※普通会計とは、総務省の基準により一般会計や特別会計を再構成したもので、自治体間の比較に用いられます。

## 財務公表

区では、区の財務情報や事業に係るコスト等をまとめた報告書やパンフレットをはじめ、区 HP などでも区民の皆様にお知らせしています。



令和5年度荒川区包括年次財務報告書  
[Comprehensive Annual Financial Report]

令和6年9月  
荒川区



数字で見えるあらかわの財政  
～新公会計制度による財務諸表を公表します～

区は、新公会計制度により財政に関する財務諸表（財務報告書）を公表しています。

令和5年度決算版の財務諸表（一般会計）

| 項目  | 金額        | 比率   |
|-----|-----------|------|
| 歳入  | 1,234,567 | 100% |
| 歳出  | 1,234,567 | 100% |
| 繰越金 | 123,456   | 10%  |

令和4年度決算版の財務諸表（一般会計）

| 項目  | 金額        | 比率   |
|-----|-----------|------|
| 歳入  | 1,234,567 | 100% |
| 歳出  | 1,234,567 | 100% |
| 繰越金 | 123,456   | 10%  |

令和4年度決算版の財務諸表（一般会計）

| 項目  | 金額        | 比率   |
|-----|-----------|------|
| 歳入  | 1,234,567 | 100% |
| 歳出  | 1,234,567 | 100% |
| 繰越金 | 123,456   | 10%  |

令和5年度決算版荒川区の財務諸表Q&A

荒川区の財務諸表についてQ&A形式のパンフレットを発行しました。

このパンフレットでは、令和5年度荒川区包括年次財務報告書における財務諸表の疑問点等についてお答えしています。ぜひご覧ください。

令和5年度決算版荒川区の財務諸表Q&A (PDF: 2.192KB)

↑ 区報掲載

↑ 区 HP にアップ

令和7年10月発行

登録番号(07)0061

令和6年度決算版 財務諸表Q&amp;A

編集・発行 荒川区会計管理部会計管理課  
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3  
TEL 03-3802-3111(代表) 内線 3221